短　報

四国地方におけるジョウビタキの繁殖初確認と中国四国地方における繁殖状況

清家　太郎 *・小野　尚久 **・上沖　正欣 **・松田　久司 **

The First Breeding Record of the Daurian Redstart *Phoenicurus auroreus* in the Shikoku Region and the Breeding Status in the Chugoku-Shikoku Region

Seike Taro, Ono Takahisa, Kamioki Masayoshi and Matsuda Hisashi

Abstract：The first breeding record of the Daurian Redstart *Phoenicurus auroreus* in the Shikoku region was confirmed at Tsuchigoya (alt. 1,492 m), Mt. Ishizuchi, Ehime Prefecture in 2025. This represents the southernmost breeding record in Japan. A pair was found nesting in a gap in the building's eaves, and three fledglings were observed. The estimated fledging date was 18 July. In the Chugoku region, breeding has also been recorded in all five prefectures, of which, established breeding was in the Hiroshima and Tottori Prefectures. In the Shikoku region, previous records were limited to breeding-season observations in the Tokushima Prefecture, with no confirmed nesting or fledglings. This report supports the ongoing breeding range expansion of the species in Japan.

キーワード：ジョウビタキ，四国，繁殖，初記録，愛媛県 , 石鎚山

Key words： Daurian Redstart, *Phoenicurus auroreus*, Shikoku, breeding, first record, Ehime Prefecture, Mt. Ishizuchi

はじめに

ジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* はバイカル湖からアムール川流域，モンゴル，中国北部，朝鮮半島などで繁殖し，日本では主に冬鳥として 10 月から翌 4 月頃にかけて全国に渡来する（日本鳥学会，2024）．国内における繁殖記録は，1983 年に北海道で確認されたのが最初とされる（川辺，1994）．その後，長野県（林，2010；林・山路，2014），北海道（層雲峡ビジターセンター，2012），岡山県（笹野ほか，2015），岐阜県（宝田，2016），広島県（上野ほか，2017），鳥取県（楠ほか，2022），山形県（深瀬ほか，2022），群馬県（深井ほか，2025）など全国で相次いで繁殖例が報告されている．これは本種が 2010 年代以降，全国的に繁殖分布域を拡大していることを示している．このような分布変化を記録することは，その種の個体群動態や生息環境の変化を解明する上で，重要な基礎資料となる．本報告では，愛媛県において記録された四国地方初のジョウビタキの繁殖について記述するとともに，中国四国地方における本種の最新の繁殖状況についても整理した．

方　法

観察は 2025 年 5 月 14 日から同年 8 月 24 日まで，愛媛県上浮穴郡久万高原町若山と西条市西之川にまたがる土小屋周辺（標高 1,492m 付近　北緯 33 度 45 分 28 秒　東経 133 度 8 分 40 秒）でおこなった．適宜，8 倍の双眼鏡・デジタルカメラ（Canon R7 および焦点距離 150−600mm ズームレンズ；GoPro MAX 360 Action Camera）を用いて写真や動画により行動を記録した．観察地点には国民宿舎石鎚，土小屋，石鎚神社土小屋遥拝殿（以下，石鎚神社），公衆トイレなど数棟の建物がある他は，半径 5 km 圏内に集落はなく森林に囲まれている．周辺環境はウラジロモミ *Abies homolepis*，ツガ *Tsuga sieboldii*，ブナ *Fagus crenata*，ミズメ *Betula grossa*，ウツギ *Deutzia crenata* 等が混交する天然林で，下層にはイブキザサ *Sasa tsuboiana* が密生する．鳥類は留鳥としてヒガラ *Periparus ater*，ウグイス *Horornis diphone*，ゴジュウカラ *Sitta europaea*，ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*，キセキレイ *Motacilla cinerea* 等が見られる．

また，2025 年 10 月時点までの中国四国地方における

*　株式会社石鎚観光　国民宿舎石鎚（〒 791-1710　愛媛県上浮穴郡久万高原町若山 21 番地 1581）
** 日本野鳥の会愛媛（〒 791-8017　愛媛県松山市西長戸町 353-5　連絡先：info@ehime-wbsj.com）
*　Ishizuchi Kanko Co., Ltd. Kokumin Shukusha Ishizuchi（21-1581 Wakayama, Kumakogen, Kamiukena, Ehime, 791-1710）
** Ehime Wild Bird Society of Japan（353-5 Nishi-nagato, Matsuyama, Ehime, 791-8017　Correspondence: info@ehime-wbsj.com）

本種の繁殖記録状況を整理するため，文献情報の収集や，日本野鳥の会各県支部への聞き取りをおこなった．

結　果

2025 年 5 月 14 日 13:00 頃，ジョウビタキのオス 1 羽が土小屋および石鎚神社前の石鎚登山道入り口付近でさえずっているのを確認した．その後も継続してさえずる同一個体と思われるオスを同所で観察した．6 月 7 日 10:00 頃，同所でメス 1 羽を初めて確認し，同日 12:10 には白石ロッジ付近でオスがメスを追いかけているのを目視した．その後，両個体は国民宿舎石鎚の周辺で観察されることが多かった．7 月 2 日，オスが昆虫を咥えて国民宿舎東側に止まっているのを観察した．7 月 8 日，給餌するペアおよび軒天の隙間からヒナの鳴き声を確認し，この時点で初めて営巣場所を特定した（図 1A，B）．巣は地上からの高さが約 6.3 m，最寄りの林縁斜面からの距離は約 4 m だった．ペアは，ガ類等の幼虫をはじめとする昆虫類を給餌していた（図 1C）．給餌行動は，7 月 17 日まで毎日観察した．7 月 18 日以降，巣への給餌を認めなくなり，その後しばらくペアやヒナを確認できなかった．7 月 23 日 10:00 頃，国民宿舎北側駐車場でペアが巣立ち直後のヒナ 2 羽に給餌している様子を確認した．8 月 5 日，石鎚神社前で，メスと 3 羽の巣立ちビナを確認し（図 1D），8 月 15 日まで給餌行動を確認した．ただし，8 月上旬から観察を終了した 8 月 24 日まで，オスは確認できなかった．これら一連の記録動画は，オンライン動画閲覧サービスに公開した（日本野鳥の会愛媛，2025）．

中国四国地方における繁殖状況を，表 1 にまとめた．愛媛県では冬鳥とされており，これまで 6 月から 8 月に本種が記録された例はなかった（上沖ほか，2024）．最も遅い終認記録は 2013 年 5 月 3 日西条市福武市民の森，最も早い初認記録は 1996 年 9 月 13 日八幡浜市日土町森山であった．徳島県では，中津峰山の民家近く（標高 400 m 付近）で 2019・2020 年の 6・7 月にオス 1 メス 1，

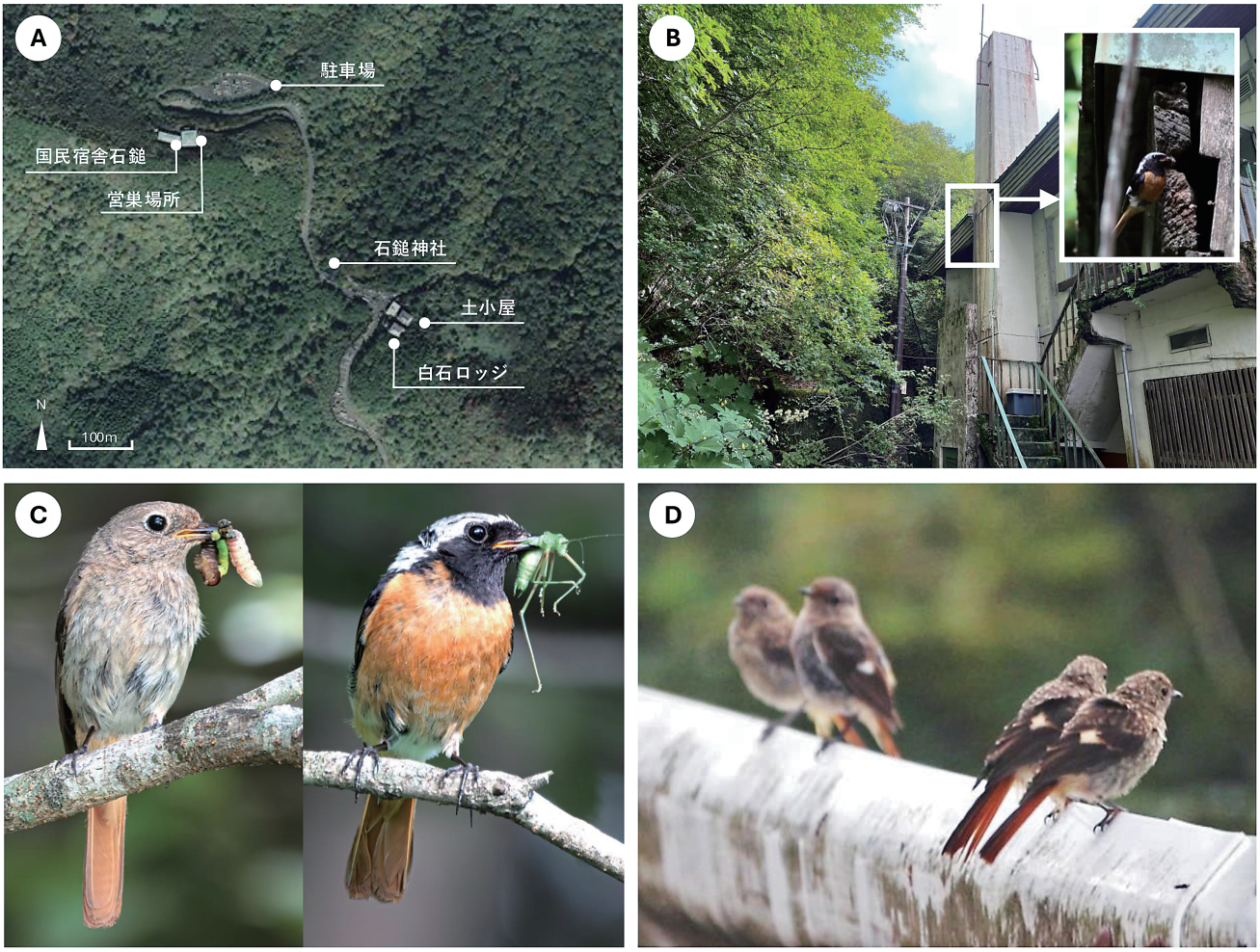


図 1．(A) 観察地点周辺の環境（国土地理院撮影の空中写真に地点情報を追加して作成）．(B) 営巣環境．枠内は巣場所とその拡大図．給餌のためオスが巣の入り口に止まっている．2025 年 8 月 25 日撮影．(C) 給餌のためガ類等の幼虫をくわえるメス（左）とホソクビツユムシ *Shirakisotima japonica* の幼虫をくわえるオス（右）．2025 年 7 月 10 日撮影．(D) メス（左から 2 番目）と巣立ちビナ 3 羽．2025 年 8 月 5 日撮影．一連の補助映像資料は，オンライン動画サービスに公開した（https://www.youtube.com/playlist?list=PLl8f9LdG46Ud1S1pg68VpqLaEpf3SiWbd）．

表1．中国四国地方におけるジョウビタキの繁殖状況（2025年10月時点）．

県名	繁殖状況	根拠
愛媛県	2025年に繁殖を初確認.	本報告；日本野鳥の会愛媛
徳島県	2019，2020，2025年に剣山系で繁殖期にさえずりや雌雄が観察されているが，繁殖記録なし.	日本野鳥の会徳島県支部
香川県	繁殖記録なし.	日本野鳥の会香川県支部
高知県	繁殖記録なし.	日本野鳥の会高知県支部
鳥取県	2016年以降，継続して繁殖.	楠（2024）；日本野鳥の会鳥取県支部
島根県	2022年7月9日に，益田市匹見町匹見で巣立ち直後の幼鳥にオスが給餌していた.	田代信行氏による観察・写真（未発表）；日本野鳥の会島根県支部
岡山県	2014年の1例のみ．その後は繁殖記録なし.	笹野ほか（2015）；日本野鳥の会岡山県支部
広島県	2015年以降，継続して繁殖.	上野ほか（2017）；日本野鳥の会広島県支部
山口県	2014年にメスが単独営巣（5卵産卵，未孵化）.	上田（2014）；日本野鳥の会山口県支部

2019年5月にオス1のさえずり，剣山見ノ越峠（標高1,400 m付近）で2025年7月28日にオス1メス1が記録されていた．しかし，営巣行動や巣立ちビナの確認はされていなかった．香川県・高知県では，繁殖期の記録はなかった．中国地方5県では，島根県の未発表記録を含め，全県で繁殖もしくは営巣が記録されていた．そのうち島根県・岡山県・山口県では1例のみだったが，広島県では2015年以降，鳥取県では2016年以降，複数つがいが継続して繁殖していることが分かった．

考　察

本報告が，愛媛県，また四国地方におけるジョウビタキの初繁殖記録である．また，同緯度の和歌山県や三重県，および九州地方以南ではこれまでにジョウビタキの繁殖は報告されておらず，日本国内における繁殖の南限記録でもあると思われる．本種の主要繁殖地は，バイカル湖からアムール川流域の高緯度地域，チベット高原など冷涼な地域である（BirdLife International, 2016）．今回確認された繁殖地点の標高も，約1,400 mと冷涼な環境の高標高地だった．日本国内においても，冷涼な気候の北海道や，標高1,000 m前後での繁殖例が多い．しかし，岐阜県で約600 m（山路ほか, 2021），鳥取県で約800 m（楠ほか，2022），広島県で約700 m（上野ほか，2017），岡山県で482 m（笹野ほか，2015）など，標高500−800 m程度の比較的低い標高でも繁殖していることから，愛媛県内においても低い標高地で今後繁殖が記録される可能性が高い．また，徳島県では複数年にわたって繁殖期に観察されており，今後四国地方の他県でも繁殖する可能性が高い．

本種の抱卵期間は約12日，育雛期間が約14日である（张，1995；楠，2024）．本観察では巣内を確認できなかったため，正確な産卵日，産卵数，巣立ち日等の詳細は不明であるが，巣への給餌行動が最後に確認された7月17日に巣立ったとすると，ヒナの孵化が7月3日前後，抱卵開始が6月19日前後となる．これは，7月2日に親鳥による給餌行動を初めて観察した結果とほぼ合致する．本種は1シーズンに2回繁殖することが多い（ヴァルチュク，1994；张，1995）．西日本では3回繁殖の場合，1回目が4−5月頃，2回目が5−6月頃，3回目が6−7月頃にかけておこなわれた例がある（楠，2024）．そのため，今回の例は2回目もしくは3回目繁殖の時期にあたるが，5月14日以前にはジョウビタキは観察されなかったため，おそらくこの1回のみの繁殖であったと思われる．確認された巣立ちビナ数は3羽であった．本種の産卵数は平均6卵で，孵化率は50％程度であることから（张 et al., 2019；楠ほか，2022），これは平均的な巣立ちビナ数である．なお，キセキレイも同じ建物の壁面に営巣していたが，6月20日頃にヒナは全てアオダイショウ *Elaphe climacophora* に捕食された．

本種が日本国内で繁殖分布域を拡大している理由は明らかではないが，他種を含めた類似事例の先行研究から，気候変動に伴う餌資源の変化とそれに伴う渡り行動や距離の変化（Cooper et al., 2015；Dossman et al., 2023），都市化への適応（Droz et al., 2015）や人工物への営巣（山路ほか，2021），出生地への帰還性（Sedláček & Fuchs, 2008；續，2018），種間関係（三上・植田，2011），都市環境に適応した遺伝的特徴を持つ個体群の拡大（Salmón et al., 2021）など，環境・生態・遺伝的な複数の要因が関係していると考えられる．今後，国内外における繁殖分布域の変化とこうした要因の関連を詳細に解析することで，その理由が明らかとなるだろう．

謝　辞

日本野鳥の会徳島県支部の東條秀徳氏，三宅武氏，三ツ井政夫氏，岡山県支部の江田伸司氏，丸山健司氏，古田和生氏，広島県支部の茶村真一郎氏，山口県支部の小

林繁樹氏，鳥取県支部の楠ゆずは氏，島根県支部の田代信行氏，田原　博氏，高知支部の西村公志氏，香川県支部の矢本　賢氏，北九州支部の片岡智徳氏には各県の繁殖状況や関連文献をご教示いただきました．また，日本野鳥の会愛媛の山本貴仁氏，木原涼帆氏からは草稿にコメントを，小川次郎氏には餌昆虫の同定をしていただきました．Andrew Robertson 氏には英文校閲していただきました．以上の方々に，心より御礼申し上げます．

引用文献

Birdlife International, 2016: Phoenicurus auroreus. The IUCN Red List of Threatened Species 2016. https://www.iucnredlist.org/species/22710066/94232476（2025.11.1 参照）.

Cooper, N.W., Sherry, T.W.and Marra, P.P., 2015: Experimental reduction of winter food decreases body condition and delays migration in a long-distance migratory bird. *Ecology* 96, p.1933-1942.

Dossman, B.C., Studds, C.E., LaDeau, S.L., Sillett, T.S. and Marra, P.P., 2023: The role of tropical rainfall in driving range dynamics for a long-distance migratory bird. *Proceedings of the National Academy of Sciences* 120, e2301055120.

Droz, B., Arnoux, R., Rey, E., Bohnenstengel and T., Laesser, J., 2015: Characterizing the habitat requirements of the Common Redstart (*Phoenicurus phoenicurus*) in moderately urbanized areas. *Ornis Fennica* 92, p.112-122.

深井宣男・岡野弘行・千明清二・柴田　栄・吉川純子・今井　好・黒澤美喜雄，2025：群馬県におけるジョウビタキの繁殖記録について．群馬県立自然史博物館研究報告 29，p.87-90.

深瀬　徹・簗川堅治・高橋ゆう・吉村晶子，2022：山形県山形市蔵王温泉におけるジョウビタキの繁殖．Bird Research 18，S5-S8.

林　正敏，2010：本州初の記録か－ジョウビタキ繁殖．いわすずめ 134，p.4-6.

林　正敏・山路公紀，2014：八ヶ岳周辺におけるジョウビタキの繁殖と定着化．日本鳥学会誌 63, p.311-316.

上沖正欣・山本貴仁・小川次郎，2024：愛媛県鳥類目録（第 1 版）．日本野鳥の会愛媛.

川辺百樹, 1994．糠平温泉での繁殖記録．野鳥 575, p.11.

楠なづな・楠ゆずは・楠まどか，2022：伯耆大山山麓におけるジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* の繁殖と 3 タイプの巣箱の利用状況．Strix 38，p.107-114.

楠ゆずは，2024：伯耆大山山麓におけるジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* の 3 回繁殖の記録．Strix 40, p.99-104.

三上かつら・植田睦之，2011：西日本におけるリュウキュウサンショウクイの分布拡大．Bird Research 7, A33-A44.

日本鳥学会，2024：日本鳥類目録 改訂第 8 版．目録編集委員会（編），東京.

日本野鳥の会愛媛，2025：愛媛県におけるジョウビタキ初繁殖記録．https://www.youtube.com/playlist?list=PLl8f9LdG46Ud1S1pg68VpqLaEpf3SiWbd（2025.11.20 参照）.

Salmón, P., Jacobs, A., Ahrén, D., Biard, C., Dingemanse, N.J., Dominoni, D.M., Helm, B., Lundberg, M., Senar, J.C., Sprau, P., Visser, M.E. and Isaksson, C., 2021: Continent-wide genomic signatures of adaptation to urbanisation in a songbird across Europe. *Nature Communications* 12, p.2983.

笹野聡美・山田　勝・江田伸司，2015：岡山県におけるジョウビタキの繁殖．日本鳥学会誌 64, p.91-94.

Sedláček, O., Fuchs, R., 2008: Breeding Site Fidelity in Urban Common Redstarts *Phoenicurus phoenicurus*. *Ardea* 96, p.261-269.

層雲峡ビジターセンター，2012：旅鳥：ジョウビタキ繁殖・巣立ち確認．大雪山国立公園 層雲峡ビジターセンターだより 50，p.3.

宝田延彦, 2016:ジョウビタキ 2016. 飛騨の野鳥 2016, p.1.

續ユキ子，2018：日本国内で生まれた翌年に出生地に帰還して繁殖したジョウビタキの報告．日本鳥類標識協会誌 30，p.107-111.

上田洋史，2014：ジョウビタキの繁殖行動の観察．やまぐち鳥だより 234，p.5.

上野吉雄･大西順子･石井秀雄, 2017:広島県におけるジョウビタキの繁殖初確認．高原の自然史 17，p.35-37.

ヴァルチュク O.P., 1994：極東ロシアのジョウビタキの繁殖．野鳥 575，p.10-11.

山路公紀・宝田延彦・石井華香，2021：八ヶ岳周辺と高山市におけるジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* の繁殖環境の選好性．日本鳥学会誌 70，p.139-152.

张雷・张海旺・王娟・张丽・程亚婷・万冬梅，2019：东北地区北红尾鸲巢址选择及繁殖成效．生态学报 40, p.70-76.

张志玺，1995：北红尾鸲在本溪地区繁殖生态及招引．动物学杂志 30，p.29-33.